

事 務 連 絡  
令和 3 年 8 月 1 2 日

関 係 団 体      各位

中部運輸局総務部長

全国戦没者追悼式の実施について

平素は、国土交通行政に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、国土交通省大臣官房長より別紙のとおり通知がありましたので、貴団体におかれましても、本趣旨についてご理解のうえ、傘下会員に周知いただきますようよろしくお願いいたします。

	関係団体名
本局	1 一般社団法人 日本ホテル協会 中部支部
	2 一般社団法人 日本ホテル協会 神静山梨支部
	3 一般社団法人 日本旅館協会 中部支部連合会
	4 一般社団法人 日本旅行業協会 中部支部
	5 中部鉄道協会
	6 中部鋼索交通協会
	7 中部地方通運業連盟
	8 中部通運業連合会
	9 公益社団法人 中部海事広報協会
	10 東海北陸旅客船協会
	11 中部沿海海運組合
	12 東海内航海運組合
	13 静岡県内航海運組合
	14 全国内航タンカー海運組合 東海支部
	15 東海港運協会
	16 日本海地区港運協会
	17 中部倉庫協会連合会
	18 東海冷蔵倉庫協議会
	19 北陸冷蔵倉庫協議会
	20 一般社団法人 東海小型船舶工業会
	21 中部船用工業会
愛知	22 一般社団法人 愛知県自動車会議所
	23 公益社団法人 愛知県バス協会
	24 愛知県タクシー協会
	25 名古屋タクシー協会
	26 一般社団法人 愛知県トラック協会
	27 一般社団法人 愛知県自動車整備振興会
	28 一般社団法人 愛知県自家用自動車協会
	29 愛知県自動車販売店協会
	30 愛知県軽自動車協会
	31 愛知県自動車部品販売協会
	32 一般社団法人 日本自動車連盟愛知支部
	33 一般社団法人 愛知県レンタカー協会
	34 中部自動車リース協会
	35 一般財団法人 日本自動車査定協会愛知県支所
	36 愛知県中古自動車販売協会
	37 愛知県自動車車体整備協同組合
	38 愛知県輸入自動車販売店協会
静岡	39 一般社団法人 静岡県自動車会議所
	40 静岡県倉庫協会
	41 一般社団法人 静岡県バス協会
	42 静岡県タクシー協会
	43 一般社団法人 静岡県トラック協会
	44 静岡県レンタカー協会
	45 静岡県個人タクシー連合会
	46 静岡県自動車販売店協会
	47 一般社団法人 静岡県自動車整備振興会
	48 静岡県軽自動車協会

	関係団体名
岐阜	49 一般社団法人岐阜県自動車会議所
	50 公益社団法人岐阜県バス協会
	51 岐阜県タクシー協会
	52 一般社団法人岐阜県トラック協会
	53 一般社団法人岐阜県自動車整備振興会
	54 一般社団法人岐阜県自家用自動車協会
	55 岐阜県自動車整備商工組合
	56 岐阜県自動車電装品整備商工組合
	57 岐阜県レンタカー協会
	58 岐阜県中古自動車販売協会
	59 岐阜県自動車車体整備協同組合
60 岐阜県自動車販売店協会	
61 岐阜県軽自動車協会	
三重	62 一般社団法人三重県自動車会議所
	63 公益社団法人三重県バス協会
	64 一般社団法人三重県タクシー協会
	65 一般社団法人三重県トラック協会
	66 一般社団法人三重県自家用自動車協会
	67 一般社団法人三重県自動車整備振興会
	68 一般社団法人北勢自動車協会
	69 三重県自動車販売協会
	70 三重県軽自動車協会
	71 三重県中古自動車販売協会
	72 三重県レンタカー協会
福井	73 一般社団法人福井県自動車会議所
	74 一般社団法人福井県自動車整備振興会
	75 公益社団法人福井県バス協会
	76 一般社団法人福井県タクシー協会
	77 一般社団法人福井県トラック協会
	78 福井県自動車販売店協会
	79 一般社団法人福井県自家用自動車協会
	80 福井県軽自動車協会
	81 福井県中古自動車販売協会
	82 福井県自動車車体整備業協同組合
	83 福井県レンタカー協会
	84 福井県冷蔵倉庫協会
	85 福井県倉庫協会

国官総第65号

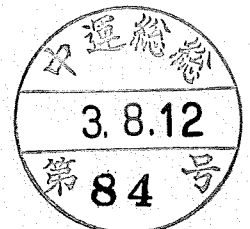
令和3年8月12日

本省局長等 殿  
地方局長等 殿  
独立行政法人の長 殿

国土交通省大臣官房長  
( 公 印 省 略 )

全国戦没者追悼式の実施について

標記について、令和3年7月9日付厚生労働省発社援0709第8号をもって厚生労働事務次官から別紙のとおり通知がありましたので、その趣旨の徹底を図り、貴所属職員及び関係機関・団体等に対し周知願います。



厚生労働省発社援 0709 第 8 号  
令和 3 年 7 月 9 日

国土交通事務次官 殿

厚生労働事務次官



全国戦没者追悼式の実施について

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」について（昭和 57 年 4 月 13 日閣議決定）に基づき、先の大戦での全戦没者に対し国を挙げて追悼の誠を捧げるとともに平和を祈念するため、8 月 15 日に、日本武道館において、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国戦没者追悼式を実施します。

つきましては、昨年同様、本式典の趣旨を十分御理解いただき、本式典が全国民の心からなる協力により国を挙げての行事となりますよう、その趣旨の普及、それぞれの職場における行事参加等について、特段の御配意をいただきたくお願い申し上げます。

なお、式典当日、それぞれの場所において、正午には 1 分間の黙とうが行われますよう、また、当日は貴管下各機関に半旗が掲揚されますようお願いいたします。



## 全国戦没者追悼式について

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」について（昭和57年4月13日閣議決定）に基づき、天皇皇后両陛下の御臨席を仰いで、全国戦没者追悼式を実施する。

1 日 時 令和3年8月15日（日） 午前11時51分 開式  
（所要時間 約1時間）

2 場 所 日本武道館  
（東京都千代田区北の丸公園2番3号）

### 3 式次第（案）

開 式

天皇皇后両陛下御臨席

国歌演奏

式 辞 内閣総理大臣

黙とう （正午から1分間）

天皇陛下のおことば

追悼の辞 衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官及び遺族代表

天皇皇后両陛下御退席

献 花 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官、各都道府県遺族代表、一般戦災死没者遺族代表、原爆死没者遺族代表、青少年代表、衆議院副議長、参議院副議長、国务大臣、各政党代表（政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第3条第2項に規定する政党で国会に議席を有するものの代表）、前・元内閣総理大臣、元衆議院議長、前・元参議院議長、各団体代表、厚生労働大臣

閉 式

### 4 参列者数

約1,400名を予定

（新型コロナウイルス感染防止の観点から、御遺族等参列者の範囲・人数を縮小。このうち、御遺族は、各都道府県から20名程度を予定）

## 「戦没者を追悼し平和を祈念する日」について

（昭和57年4月13日  
閣議決定）

### 1 趣旨

先の大戦において亡くなられた方々を追悼し平和を祈念するため、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」を設ける。

### 2 期日

毎年8月15日とする。

### 3 行事

政府は、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に、昭和38年以降毎年実施している全国戦没者追悼式を別紙のとおり引き続き実施する。

---

### 別紙

#### 全国戦没者追悼式の実施について

- 1 全国戦没者追悼式は、天皇皇后両陛下の御臨席を仰いで、毎年8月15日、日本武道館において実施する。
- 2 本式典における戦没者の範囲及び式典の形式は、昭和56年の式典と同様とする。
- 3 本式典には、全国から遺族代表を国費により参列させる。
- 4 式典当日は、官衙等国立の施設には半旗を掲げることとし、地方公共団体等に対しても同様の措置をとるよう勧奨するとともに、本式典中の一定時刻において、全国民が一斉に黙とうするよう勧奨する。

## 全国戦没者追悼式次第（案）

午前 1 1 時 4 5 分までに	参列者が式場に参集し、所定の位置につく。
午前 1 1 時 5 1 分	開式。
次 次 次 次	天皇皇后両陛下が御臨席になる。
次 次 次 次	国歌を奏する。
次 次 次 次	内閣総理大臣が式辞を述べる。
次 次 次 次	天皇皇后両陛下が所定の位置にお立ちになる。
次 次 次 次	一同黙とうを行う。
次 次 次 次	天皇陛下がおことばを述べられる。
次 次 次 次	衆議院議長が追悼の辞を述べる。
次 次 次 次	参議院議長が追悼の辞を述べる。
次 次 次 次	最高裁判所長官が追悼の辞を述べる。
次 次 次 次	遺族代表が追悼の辞を述べる。
次 次 次 次	天皇皇后両陛下が御退席になる。
次 次 次 次	内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官、遺族代表、青少年代表、参列来賓ならびに厚生労働大臣が花を献ずる。
次 次 次 次	閉式。参列者が退出する。